

校長室だより



豊川市立東部小学校

令和5年1月13日

ペア活動に取り組んでいます

令和4年度から「あったかい学校づくり」の1つとして「ペア活動」の充実に取り組んでいます。1・6年、2・4年、3・5年をペア学年として、1対1または2対1でかわりをもちながら行う活動です。これまでに各学年、学期に1回程度のペア活動の場をつくるほか、新入生を迎える会、にこにこ集会などでもペア活動を行ってきました。



【3・5年ペア活動(6月)】



【1・6年ペア活動(12月)】

1月12日のにこにこ集会では、ペアで俳句をつくる活動を行いました。廊下を走ってしまうことが多いことに生活委員会が問題意識をもち、ペアごとに俳句をつくり、それを目につくところに掲示することで、意識の高揚を図ろうとする取組です。時間内で出来上がるように高学年児童が事前に案を作っておき、集会の場でも高学年がリードして、低学年に考えを聞きながら俳句づくりを進めていました。高学年の姿を頼もしく感じました。活動を終えた低学年児童が、笑顔を浮かべ、軽やかに自分の教室に帰っていく姿が強く心に残りました。

3学期にはこの後も、児童会役員企画「東部っ子！全員集合！」、運動委員会企画「ペア運動すごろく」などのペア活動が計画されています。こうした活動を通じて「あったかい心」が育っていくことを願っています。



【俳句づくり】

善行児童表彰を受けました

小神優斗くんは8月に豊川市社明運動推進委員会から、西尾奈夏海さんは1月に豊川市ライオンズクラブから表彰を受けました。両児童はそれぞれ人柄がすばらしく、日頃から諸活動に積極的に取り組み、リーダーシップを発揮しています。児童会活動では、前期または後期の会長として、学校の中心として活躍しています。



小さな積み重ねを大事に！

～始業式校長講話より～

(前略) あなたは、どんなめあてを心に決めて、今日のスタートを迎えたでしょうか。めあてに決めたことを、本当に実現させるためには、思っているだけではだめです。本気になって、動き出すことが大事。本気になって動き出すためには、声に出して人に伝えるとよいでしょう。文字に書いて広く知らせるのもよいと思います。例えば、今年めあてを書いて教室に掲示すれば、いろんな人に知ってもらうことになります。人に見てもらえることは、がんばるための励みになります。…そして、小さな努力を積み重ねることが大事です。例えば、「走るのが速くなる」「テストでいい点をとる」と、すぐにはできるようにはならないことについて、めあてを決めた子がいると思います。どうしたら、走るのが速くなりそうでしょうか。思っているだけではだめですよ。そして、運動会の時だけがんばっても、できるようにはなりません。毎日外遊びをたくさんしたり、なわとびなどの運動をがんばったりする小さなことを積み重ねることが大事です。めあてを決めたその時から小さな積み重ねをこつこつと続けてください。他にも、「人にやさしくする」「元気なあいさつができるようにする」「早寝早起きをする」というめあてを決めた子がいるかもしれません。…相手の気持ちになって考え、相手の気持ちになって声をかけてあげて、何を何度も続けていくうちに、「人にやさしくできる人」になっていくのではないのでしょうか。だからやっぱり小さな積み重ねが大事です。

さて、3学期には、楽しいこともいっぱいありそうです。1月・2月には児童会役員や運動委員の子たちが、全校で楽しむペア活動を計画しているようです。…そういういろいろな行事にも進んで取り組んで、思いっきり楽しみながら、あなたが決めためあてをぜひ、できるようにしてってください。

4月には1つ上の学年にふさわしい、レベルアップしたあなたの姿が見られることを期待しています。



始業式後の学級の時間には、3学期のめあてを真剣に書く様子が各クラスで見られました。それぞれに強い思いを持っている様子です。